

授業科目	*ウィメンズヘルスケア				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	MI21208J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	古賀 玉緒、山田 恵、前田 幸							
授業概要	助産師はすべての女性およびその家族の健康増進にむけた支援が求められる。 本科目では、講義の他、事前学習やグループワークなど取り入れながら進めていく。その中で、ライフステージ各期の身体的・心理社会的な特徴や変化に関する基礎的知識をふまえ、リプロダクティブヘルス/ライツの重要性、女性がおかれている社会状況やジェンダーにまつわる健康、特別に支援を要する女性の健康、社会における多様性に関する健康などについて学修する。							
学生が達成すべき行動目標	1.ライフステージ各期における対象の特徴を説明できる。 2.特別に支援を要する対象の特徴を説明できる。 2 ライフステージ各期の特徴と根拠をふまえたウィメンズヘルスケアについて、説明できる。 3.ウィメンズヘルスケアに関する事前学習やグループワーク等に意欲的に取り組み専門職としての態度を学ぶことが							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	65	10	20	5	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	40	10					50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	25		5				30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			15				15	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				5			5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルに到達したうえで、現代社会における女性を取り巻く状況や自分自身の体調に目を向け、助産師として必要な態度について自分の意見をのべることができる。				1. リプロダクティブヘルス/ライツの重要性をふまえたうえで、ライフステージ各期における女性・特別に支援を要するの女性や特徴や支援について、根拠をふまえて説明できる。 2. 事前学習や課題、グループワーク等に意欲的に取り組むことができる。また、他者の立場や意見をふまえたうえで自身の意見を述べることができる。 3. ディスカッションウィメンズヘルスケアを実践するうえで助産師として必要な態度について述べるすることができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	生涯における女性のケア(1)(古賀 玉緒) 概論、ウィメンズヘルスケアとは 、女性のライフステージの特徴	講義	予習: 1. テキスト第1章1, 第2章1(4)を熟読しておくこと。なお、第1章に関する知識は修得しておくこと。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
2	生涯における女性のケア(2)思春期女性のケア(山田 恵) ・思春期女性を取り巻く現状と健康問題および支援	講義 ディスカッション	予習: 1. テキスト第2章2、第3章3、第6章4、第7章3(1-2)、第7章4を熟読しておくこと。 2. 新聞記事などから、思春期の女性の話題や健康課題などについて話題について情報収集し講義に臨むこと。	60
3	生涯における女性のケア(3)(古賀 玉緒) 成熟期女性のケア ・成熟期女性を取り巻く現状と健康問題及び支援	講義 小テスト ディスカッション	予習:テキスト第2章3、第2章5(1-3)第3章2、第7章3(3)、第7章4を熟読しておくこと。 2. 新聞記事などから、成熟期から中高年期の女性の話題や健康課題などについて話題について情報収集し講義に臨むこと。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
4	生涯における女性のケア(4)(古賀 玉緒) 中高年期の女性のケア ・中高年期の女性を取り巻く現状と健康問題及び支援	講義 ディスカッション	予習: 1. テキスト第2章4、第7章3(3-4)、第7章4、第3章4を熟読しておくこと。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
5	特別に支援を要する女性へのケア(1)(前田 幸) ・マイノリティな性をもつ女性の現状と健康問題及び支援	講義 小テスト ディスカッション	予習: 1. テキスト第4章(1-4)を熟読しておくこと。 2. 新聞記事などからジェンダーに関する話題や健康課題などについて話題について情報収集し講義に臨むこと。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
6	特別に支援を要する女性へのケア(2)(前田 幸) ・マイノリティな性をもつ女性の現状と健康問題及び支援	講義 ディスカッション	予習: 1. テキスト第5章(1-3)を熟読しておくこと。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
7	特別に支援を要する女性へのケア(3) (外部講師 藏本 武志) ・不妊に悩む女性への支援 不妊症に関する現状と治療	講義	予習 1. 新聞記事などから不妊に関する女性の話題や健康課題などについて情報収集しレポートすること。	60

			(提出については別途提示)	
8	<p>特別に支援を要する女性へのケア(4) (外部講師 久保島 美佳) ・不妊に悩む女性への支援 不妊治療を受ける女性のケア</p>	講義	<p>1. 第3章1を熟読しておくこと。 2. 参考図書を熟読しておくこと。(範囲は別途提示)復習: 講義内容について振り返りを行う。</p>	30
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	助産の重要な専門科目であり、広い分野に応用できる内容です。。 テキストは熟読し、さらにメディアや文献などからも女性の健康について情報を収集し、講義内のディスカッションで活用できるように準備しておきましょう。
テキスト	助産師基礎教育テキスト 2021 年版第2巻 ウィメンズヘルスケア 吉沢豊予子編著 日本看護協会出版社 病気が見える Vol.9 第4版,井上裕美他監,MEDIC MEDIA
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	助産学講座 2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学 医学書院 助産学講座 3 基礎助産学[3] 母子の健康科学 医学書院 助産学講座 4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 医学書院 助産学講座 5 助産診断技術学 I 医学書院 助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健 医学書院 助産師による思春期の健康教育 公益社団法人 日本助産師会 [改訂版]国際セクシュアリティ教育ガイダンス 明石書店 妊心 蔵本武志著 文芸社他、 随時資料を配布随時資料を配布します。 教材:婦人体温計(各自準備)
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	婦人体温計を各自準備し、BBTを測定してください。(3 か月程度) 自身の身体の変化を把握し、アセスメントしてレポートにまとめて提出して下さい。(詳細・提出期限は別途提示する)
達成度評価に関するコメント	評価は試験、小テスト、レポート、ディスカッションの参加状況、BBT 測定の取り組みにより行います。なお、上記の評価不可の場合は、筆記にて再試験を行います。